

令和7年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：市民総合体育館及び市内各体育施設

指定管理者名：河内長野SSKクリーン工房共同事業体

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	37,000,000	35,511,000	1,489,000	35,035,398	
	自主事業収入	8,500,000	9,586,691	-1,086,691	8,189,248	
	物品販売収入	500,000	233,665	266,335	345,142	
	指定管理料	72,000,000	72,000,000	0	72,000,000	
	その他収入	6,000,000	6,378,273	-378,273	6,942,913	
	収入総額	124,000,000	123,709,629	290,371	122,512,701	
支出	人件費	42,300,000	43,649,931	-1,349,931	41,298,905	
	事務費	2,200,000	2,517,833	-317,833	2,462,188	
	管理費	45,000,000	42,111,026	2,888,974	43,446,693	
	自主事業経費	6,400,000	7,267,031	-867,031	6,622,111	
	光熱水費	15,000,000	14,402,991	597,009	14,136,448	
	リース料	600,000	531,564	68,436	531,564	
	その他	10,500,000	12,298,649	-1,798,649	12,424,245	
	支出総額	122,000,000	122,779,025	-779,025	120,922,154	
収支差額		2,000,000	930,604	1,069,396	1,590,547	

3. 総合評価

自己評価

・令和7年度においては、市民総合体育館アリーナに空調機器が設置され、運動できる環境が大きく変化した1年でした。例年課題であった夏場の猛暑に対して空調が設置されたことにより、快適に運動することができ、利用者の皆様には大変喜んでいただきました。屋外施設においては、木戸東運動場周辺の樹木の剪定、グラウンド整備には特に力を入れ、利用者の皆様からはグラウンドが使い易く良くなったねとお褒めの言葉を頂戴しております。南花台小跡地運動場も同様に外野エリアの除草、固いグラウンドの整備を常に心掛け、利用者の皆様が快適に運動ができるよう施設整備を行ってまいりました。自主事業(イベント)においては、①現役のプロサッカー選手であるヴィッセル神戸の権田修一選手、セレッソ大阪の福井光輝選手を招聘して、サッカー教室を開催しました。現役のサッカー選手から指導を受けれるということもあって、子供たちに夢や希望を与えることができました。②バレーボールイベントにおいては、昨年に続き大阪大谷大学との産学連携イベントを開催しました。市内、市外の中学校のバレーボール部を対象に大学の監督・コーチによる実践を踏まえた指導を開催。大学のバレーボール部の学生さんにも応援いただき交流を深めました。③夏休みイベントとして、元日本代表監督の倉嶋洋介氏を招いて、卓球教室を開催いたしました。また子供たちを対象に廃材を使った卓球ラケットづくりや的当てゲーム、卓球ラリーなど遊び感覚で卓球を体験し、子供たちにとって良い夏休みの思い出となりました。④クリスマスイベントとして、野球クラブづくりイベントを開催しました。お父さんから子供へのプレゼントとして、また自分自身のご褒美として、世界に1つだけのオリジナルクラブを作っていました。また小学生対象に「モノ」の大切さを知っていたため野球クラブメンテナンス講習会も同時開催いたしました。

収支面においては、夏場から空調機器がアリーナに設置されたこともあり、アリーナにおいては昨年に比べ約200万程電気代が高騰しましたが、赤峰市民広場の閉鎖による夜間照明代の費用が発生しなかったこともあり、全体的には昨年に比べ微増となりました。また、昨今の物価高騰における人件費等の増額など影響を受けましたが、その分を自主事業(スクール)収入でカバーすることができ、なんとか踏ん張れた1年であったかと振り返ります。

利用者サービスの一環としては、七夕、クリスマス企画など開催し、体育館が地域のコミュニティーの場になるよう引き続きおこなってまいりました。屋外施設の維持管理面では、営繕スタッフが、年間100件以上の補修・修理、グラウンド整備・整頓、木々の伐採・剪定・処理等を行いました。特に、市からご連絡いただいた案件や、利用者の方々からいただいたクレーム・要望等は速やかに対応し、ご利用者の皆様には喜んでいただきました。ただ、全体的に施設が老朽化しており、修繕だけでは対応しきれないケースもでてきており、今後大きな懸念材料です。今後も引き続き、市民の皆様の安全・安心を最優先し、市民の皆様から喜んで頂ける施設を目指してまいります。

市評価

令和7年度は、河内長野SSKクリーン工房共同事業体による指定管理業務が2期目4年目(計9年目)の年でした。

令和7年度においては、市民総合体育館アリーナに空調機器が設置され、利用者が安全に活動できるよう、柔軟に対応していただきました。日常の修繕や管理においても、老朽化した施設の維持管理が難しい状況の中、営繕担当スタッフを中心に、利用者目線で、迅速かつ丁寧に対応していたと感謝しております。

また、施設の利用者増加や新規利用者獲得につながる取り組みを引き続き行い、トレーニング室利用者数の増加等、一定の成果を感じております。さらに、多岐にわたる自主事業を継続的に実施いただき、スポーツ経験につながる機会を通じて子供たちの心身の健やかな成長の機会を創出していただいたと認識しております。

特に、昨今の物価高騰における人件費の増額や空調施設稼働による電気代の増額につきまして、自主事業を積極的に行うことで対応していただき、所管課として深く感謝しております。

今後も、施設の管理運営においては、市と随時、情報共有を図りながら、民間企業の特色を活かしたスポーツ施設の効率的な管理運営を行ってもらうことを期待します。